

新潟大学における高度情報専門人材育成に係る構想

【これまでの取組み】

新潟大学の数理データサイエンスA | 教育

(全学共同教育研究組織) ビッグデータアクティベーション研究センター

- 体系的に数理・データサイエンスを学べる教育基盤を整備
- 全学部でデータサイエンス教育の必修化 (令和4年度～)

■ 文部科学省 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定

- ・リテラシーレベル : 令和3年度 (R8.3.31まで)
- ・応用基礎レベル : 令和4年度 (R9.3.31まで)

【令和7年度から】

学士課程

工学部工学科 (入学定員530名+女子枠5名増員)

知能情報システムプログラム

学校推薦型選抜に
女子枠 (5名) を設置

本事業に合わせ
高等学校・情報科
教職免許の認定申請中

創生学部 創生学修課程 (入学定員65名+5名増員)

学生定員の拡充&2コース設置

課題発見・到達目標設定型

- ・創生学修コース (50名)
- ・DX共創コース (20名) 【新設】

デジタル技術を基盤とした課題発見・解決を目指す文理融合プログラム

進学

進学

大学院課程

大学院自然科学研究科 (博士前期課程) (入学定員487名+15名増員※) ※概算要求事項のため変更する場合があります。

材料生産システム専攻
社会システム工学コース

統合

電気情報工学専攻
情報工学コース

<新設>

電気情報工学専攻 情報社会デザイン科学コース (募集人員59名※)

<育成人材のイメージ>

■ データサイエンティスト ■ デジタルトランスフォーマー

<養成するスキル>

- 【デジタルスキル】・情報、AI、データサイエンスの知識やスキル
- 【トランスファラブルスキル】・現在の課題をとらえ、望ましい未来へ造り変えるスキル
- 【デザインスキル】・アイデアの社会実装をデザインできるスキル
- 【コミュニケーションスキル】・異分野、異文化の人とのコミュニケーションスキル

情報社会デザイン科学コース

→ 「未来志向のデザイン力を涵養する大学院プログラム」

「情報社会デザイン科学コース」は、科学技術指向⇄ビジネス指向、自然科学系⇄人文社会科学系を問わず、高度な情報通信、データサイエンス、デジタル技術、デジタルトランスフォーメーションを学び、自ら課題分析・目標設定ができ、様々な観点で検討を加え、解決方法を見出せる人材の養成を目的とする。

目指す学生像

目指すべき社会の姿や研究の到達点を描き、バックキャストिंग的手法をもって課題を設定し、その解決に向けて活動できる学生。

- ① 未知の課題や未解決の問題に対して独自の研究を深めていく「知の深化」
- ② 解決すべき社会課題に対し関係者と連携して解決策を探していく「知の探索」